

**『優しい目』**（ローテーション道德）を振り返って・・・ <みんなの感想より>

- 日常にはたくさんの優しさがあり、たくさんの意見がある。その意見を尊重することが大切だと思った。
- 私より想像がすごい人はたくさんいるし、いろいろな人の意見を聞くのは面白くて「あー」となるのが良いなと思いました。みんなで考えた方が楽しいなと思いました。
- 正解を知っていると(知ったつもりでいると)、そこから考えが広がっていかない、というのはその通りだと思った。これからは色々なことを、色々な角度で見えていけるようになりたい。
- いろいろな優しさについて分かって面白かった。班で意見を考えられたので楽しかった。
- とても楽しかったです。同じようなことを書いていてもそれぞれ違う表現をしていました。1人1人違う意見をもつて良いことですね。私は今までみんなに合わせるが多かったけど、これからは自分の意見をもってみるようにします。
- 自分とは違う発想をもっている人がいて、違う意見も楽しめた。世の中を「優しい目」で見たいと思った。
- 自分の知っていることも、深く考えることで色々な優しさを見つけられることを知った。身の回りのものをもっとよく見ることが大切だと思った。これからはそれを見ていきたい。
- 私たちのまわりには、色々な優しさがあることが分かった。他にもあると思うし、こんな優しさをつくれるような人になれたらいいなと思った。
- 今までとは違う考え方で考えることができ、色々な優しさが分かった。これから周囲の優しさを見つけられるようにしていきたいと思いました。
- 街のいたるところに優しさが隠れていたことに、「凄いな、なるほど。」と思えることがたくさんあった。ここ京都の街でも隠れている優しさがあると思うので、探してみたいと思った。
- 自分が生きていの中で気づいていない優しさがいっぱいあることが分かった。学校生活でも気づいたらきれいになっていたり。そんなことがあるから、そういうとこに気づいて、やってくれている人がいるとちゃんと考えておかないといけないと思いました。
- 「これは誰かの優しさかもしれない。」と考えるだけで、今より少し楽しく生きられそうですね。そして自分も優しくなれる気がします。
- 自分の意見に「なるほど！」と言ってもらえたのが、素直に嬉しかった。

①世の中にある優しさを「ひょっとしたら…」という目で想像する ②自分とは違う考えがあらうことに気づく。③自分と違う考えを楽しむ 以上の3つを目標に、自分で考えたり、クラスメートと討議をしました。同じものを眺めていても、捉え方、考え方が違うことはよくあること。その違いを認められる方が、より楽しく生活できるのではないかと、思います。